

研修会等参加報告書

令和元年8月15日

天童市議会議長様

会派名 てんどう創生の会

代表者氏名 渡辺 博司



下記により、会派において研修会等に参加してきましたので報告します。

記

研修会等名	自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
主催団体名	公益財団法人全国市町村研修財団
日時	令和元年7月24日13時から7月25日15時まで
会場・場所	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号
全体参加者数	118人
内容等	<p>●初日 講義 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢 克祐氏 演習 決算審査の実践 同氏</p> <p>●二日目 講義 決算審査の新しいアプローチ 同氏 講義 行政評価等を用いた決算審査の実践 同氏</p>

<p>市政の課題への参考等</p>	<p>市の税収にも大きく関わる人口減少に直面している昨今、本市の財政状況をしっかり把握する必要がある。その為の要点・ポイント・視点など色々な角度から見ていくため学ぶ。</p>	
<p>参加者の感想等</p>	<p>参加議員氏名</p>	<p>感想等</p>
<p>笹原 隆義</p>		<p>財政民主主義として、予算・決算には議会の議決・承認が必要となる。決算があつての予算編成であり、決算をないがしろにしていけないが、多くの議会ではその傾向がある。そのため、決算から予算への議会（議員）の質問をしっかりと確認していく必要がある。決算での質疑を次の3月議会でどのように進めていくか。また細かい数字は監査委員が見るので、議会は幹から枝、そして葉と要点を捉えて考えていく。</p> <p>決算審査における着眼点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予算審議との関連から審査</li> <li>2. 住民視点から審査</li> <li>3. 全体を捉え、細部の議論</li> </ol> <p>一般財源の内、政策的経費は増えているのか。決算審査は、財務数値・財産・成果のそれぞれの視点から分析する。決算カード・財政状況資料集の理解と分析。地方交付税のおかげで、人口の過密度の違い、企業数の違いがあれど、国民は同じくらいの行政サービスを受けることができている。具体的に秩父市の一般会計歳入歳出決算書事項別明細書、基本事業評価シート、決算カード、財政状況資料集を用いて、内容確認。</p> <p>議員同士でディスカッション出来て、新たな視点を見つける事ができた。こういった機会は非常に有意義である。分析の視点として、投資損失引当金が計上されている場合は、出資する団体の経営状況が深刻になっている可能性がある。徴収不能引当金の推移も確認すべき。</p> <p>今回の研修会をより良いものにしていくためにも、引き続き考察していくことが大事であると思う。</p>

今回の研修では、審査を行う上で必要な着眼点と評価による課題の把握と分析結果に基いた紐解き方について特に勉強になった。今後の審査において、今回学んだ要点を活用し言及していきたい。

尚、研修で学んだ、特筆事項は次のとおりである。

- ・決算書と決算カードの実質収支の差額が出るのは、決算書は一般会計のみであり、決算シートは特別会計も含まれるためである。

- ・繰替運用を行うことで、基金の入出金がある際に手数料が生じてしまうことが無く、足りなくなった部分を基金の中から充当することで費用が発生しない。しかし、繰替運用は普通預金のみ可能であるが、定期預金として基金を積み立てていた場合は、利子が発生し基金運用できるので一長一短である。

#### ◎決算審査における着眼点

##### ①予算審議（当初・補正）との関連から審査する。

- ・予算の執行によって、目指す目的は達成されたのか
- ・予算審議における質疑は、執行の中で遵守されたのか
- ・付帯決議がある場合は、決議内容は実行されたのか

##### ②住民の視点から審査する。

- ・予算の執行によって財政状況はどのようになったのか
- ・財政状況の好転に向けた行財政改革は進められたのか
- ・財政状況の中で、実施すべき行政サービスは目的を達したのか

##### ③全体を捉えてから、細部の議論を行う。まず、木の大きさ（全体の規模）から、枝ぶり（全体の構成）、そして、葉っぱ（各事務事業）を見ていく

- ・決算審査においては、財務数値、財産、成果のそれぞれの視点からまず分析する。

- ・実質収支に関する調書に示された決算収支の状況を前年度と比較し目を光らせる。

- ・出資団体との契約において、損失補償契約を市と結んでいるのかを確認する必要がある。

- ・指定管理者への委託料において、内訳に対して不透明な場合、委託業者の選定理由や委託する際のモニタリング結果から紐解く。

- ・標準財政規模とは、理論的にこのくらいの収入になるものを表したものである。

- ・建設費の将来的な経費の内容として、維持管理費にかかる経費は30年後1.5%増加する。（維持7：管理3の割合）

- ・資産改革とは

- ① 建物が老朽化していることを考える。

熊澤 光吏

		<p>② 投資出資勘定の悪化</p> <p>③ (税外債権) 現年滞納と前年滞納では、収納の額が変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・改革により、これまで土地家屋台帳など様々な台帳があったが、固定資産台帳一本にまとめられた。</li><li>・資産・債務改革 世代間の負担の衡平</li><li>・投下資本の固定</li><li>・総合計画、財政計画、総合管理計画＝行財政計画</li><li>・他者が前面に押し出したものを言うのは客観ではなく主観である。逆に他者だけではなく自分自身も相手のことを評価したものを示すことを客観という。</li><li>・評価シートを前年度と見比べた際に、文言がコピペだったり、数字だけ変えられている場合は、形態化され評価していないのと同じ。</li><li>・成果指標の製作の仕方や見方を知っておくことで成果指標の設定が妥当かどうかわかる。</li><li>・成果とは行政の仕事によって住民生活の質や量がどう変わったのか。</li></ul>
--	--	---

様式第12号

研修会等参加報告書

令和元年8月15日

天童市議会議長様

会派名 てんどう創生の会

代表者氏名 渡辺 博司



下記により、会派において研修会等に参加してきましたので報告します。

記

研修会等名	自治体決算の基本と実践～行政評価を活用した決算審査～
主催団体名	公益財団法人全国市町村研修財団
日時	令和元年7月24日13時から7月25日15時まで
会場・場所	全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号
全体参加者数	118人
内容等	<p>●初日 講義 決算の意義と審査のポイント 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 教授 稲沢 克祐氏 演習 決算審査の実践 同氏</p> <p>●二日目 講義 決算審査の新しいアプローチ 同氏 講義 行政評価等を用いた決算審査の実践 同氏</p>

<p>市政の課題への参考等</p>	<p>市の税収にも大きく関わる人口減少に直面している昨今、本市の財政状況をしっかり把握する必要がある。その為の要点・ポイント・視点など色々な角度から見ていくため学ぶ。</p>	
<p>参加者の感想等</p>	<p>参加議員氏名</p> <p>笹原 隆義</p>	<p>感想等</p> <p>財政民主主義として、予算・決算には議会の議決・承認が必要となる。決算があつての予算編成であり、決算をないがしろにしていけないが、多くの議会ではその傾向がある。そのため、決算から予算への議会（議員）の質問をしっかりと確認していく必要がある。決算での質疑を次の3月議会でのどのように進めていくか。また細かい数字は監査委員が見るので、議会は幹から枝、そして葉と要点を捉えて考えていく。</p> <p>決算審査における着眼点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 予算審議との関連から審査</li> <li>2. 住民視点から審査</li> <li>3. 全体を捉え、細部の議論</li> </ol> <p>一般財源の内、政策的経費は増えているのか。決算審査は、財務数値・財産・成果のそれぞれの視点から分析する。決算カード・財政状況資料集の理解と分析。地方交付税のおかげで、人口の過密度の違い、企業数の違いがあれど、国民は同じくらいの行政サービスを受けることができている。具体的に秩父市の一般会計歳入歳出決算書事項別明細書、基本事業評価シート、決算カード、財政状況資料集を用いて、内容確認。</p> <p>議員同士でディスカッション出来て、新たな視点を見つける事ができた。こういった機会は非常に有意義である。分析の視点として、投資損失引当金が計上されている場合は、出資する団体の経営状況が深刻になっている可能性がある。徴収不能引当金の推移も確認すべき。</p> <p>今回の研修会をより良いものにしていくためにも、引き続き考察していくことが大事であると思う。</p>